

「小さな拠点づくり」モデル地区 進捗状況シート

◆ 地区名	阿須那、口羽	◆ 主要推進組織	はすみ会議
-------	--------	----------	-------

◆ 市町村担当課	邑南町地域みらい課、羽須美支所	◆ 県地区担当課	西部県民C石東地域振興課
----------	-----------------	----------	--------------

◆ 具体的な取組状況						
取組内容	R6年度までの到達目標	今年度の実施内容とスケジュール	進捗状況	目標達成に向けた課題	課題への対応策	
			県の支援内容		県の支援予定	
羽須美地域の計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 小さな拠点づくりに向けた交通、高齢者福祉、担い手創出、自治機能見直しの実現に向けた5年間の計画策定。 	<ul style="list-style-type: none"> 羽須美地域小さな拠点づくり計画の策定 住民ニーズをより詳細に把握し、地域課題解決に向けた方策を計画に落とし込む。 計画を全住民で共有し、活動参加の意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全住民アンケート実施、とりまとめ(10月～11月) 計画づくり(8～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> (計画づくりにおける、住民ワークショップのファシリテート、意見集約等を、邑南町からNPOはすみ振興会へ委託(6/1)) (地域団体・町で事務局会議の実施(6/16、8/24、9/2、10/7)) (ティーミーティングの実施(6/22、6/29、7/13、7/20)) ①「はすみ会議」の開催(8/31) ②計画づくりに向けた住民WSの開催(9/23口羽地区、9/24阿須那地区、10/30羽須美全体) ③阿須那地域の新たな住民組織設立準備会の実施(10/21) 	<ul style="list-style-type: none"> (コロナ禍で住民を集めた説明会等が開催できず、事業周知等が難しい。) 住民ワークショップの基軸となる「はすみ会議専門委員会」のメンバー確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はすみ会議専門委員会」について、口羽・阿須那地区の住民WSを経て、「小人数での計画づくりワーキング会議」として設けることし、自治会等を通じて有志を募り、10名(各地区5名)の参加を得た。
			<ul style="list-style-type: none"> 先進地視察(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ①「はすみ会議」へ出席。 ②住民ワークショップに出席し、運営支援。 		
デマンド交通の充実と買い物拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> 阿須那、口羽両地区にバスターミナルを備えた交通拠点の整備。 燃油の安定的な確保に向け、阿須那給油所の委託業務を継承 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交通の運用を効率化し、他地域へのアクセスを持続的に確保 	<ul style="list-style-type: none"> 阿須那地区において、「はすみデマンド阿須那事務所」の選定と整備(9～10月) 	<ul style="list-style-type: none"> (町営住宅を改修して仮拠点として整備(6月)) (各地区の拠点場所/機能は、上記「計画づくり」において住民で話し合う。) 	<ul style="list-style-type: none"> 店舗となる建物の選定・確保。 	
			<ul style="list-style-type: none"> (口羽地区は翌年度以降実施) 	<ul style="list-style-type: none"> (予約・配車システムについて、共同研究先企業と「共同研究協定」を締結(3/31)) (邑南町でのシステム実証実験を開始(6/1～)) 		
			<ul style="list-style-type: none"> 民間企業との実証実験(6～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> (連携先企業と協議(6/12)) 		
<ul style="list-style-type: none"> 民間企業と連携したINAKAコンビニ型ホームセンターの開設と、デマンド拠点におけるネット通販代行サービス等による買い物支援 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業との実証実験(6～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業と整備・運用方針協議(6～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業との実証実験(6～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> (連携先企業と協議(6/12)) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業と整備・運用方針協議(6～3月) 	

困りごと解決サービスの実施体制構築	・支障木を活用した小型木質バイオマス施設の導入		(R3年度以降着手)	(事業内容は、上記「計画づくり」において住民で話し合う。)			
	・阿須那・口羽地区それぞれに高齢者の滞在拠点を整備し、入浴・食事サービスの実施	・高齢者の生活支援サービスを実施する体制を整え、安心して暮らし続けることができる仕組みを構築	・運営体制づくり(1月) ・整備予定地の選定(3月)	(事業内容は、上記「計画づくり」において住民で話し合う。)			
	・除草、除雪等の家の周辺環境を維持する出張サービスの実施	・生活支援などに対する相談対応件数 【(R6) 40件/年】	(R3年度以降着手)	(事業内容は、上記「計画づくり」において住民で話し合う。)			
	・高齢者の活動場所として、鳥獣害対策を施した協働農園を設置		・協働農園適地選定(11月)	(事業内容は、上記「計画づくり」において住民で話し合う。)			
関係人口の発掘と相談体制構築	・羽須美地域住民と出身者を対象に行事予定やボランティア募集情報などを掲載した「はすみ新聞」を発行		・出身者のリスト化(6～12月)	(邑南町からNPOはすみ振興会へ実施委託(7/1)) (「はすみ会議」の開催にあたって、住民向けモデル事業説明広報(はすみ新聞0号版)を発刊、全戸送付。) ①NPOはすみ振興会にてSNS開設。 ②はすみ新聞1号を、11月中旬に発刊予定。			
	・出身者が集う「ふるさと懇談会」を開催	・関係人口が地域住民と協働して課題解決に取り組む地域の実現	・懇談会開催(11・3月)	(邑南町からNPOはすみ振興会へ実施委託(7/1))	(コロナ禍で、人を集めた関係人口イベントが開催できない。)	・コロナ禍であるため、イベント開催に代え「羽須美の現在を紹介する小冊子」を作成することとし、出身者会・同窓会事務局等を通じて、出身者に送り、地域の様子を伝える。	
	・地域住民が主体となっていく生活機能確保に向けた課題解決につながる提案に補助金交付	・関係人口(はすみ新聞送付先)数 【(R6) 500件】	・補助金交付(随時)	(邑南町が、関係人口と地域住民による課題解決の仕組みづくりチャレンジ事業の交付要綱を新規策定、施行(R2.9)) ①チャレンジ事業の公募開始。			
	・空き家活用に関する相談窓口の設置、講習会・個別相談会等の実施		・空き家調査(随時) ・相談窓口開設(11月)	(邑南町からNPOはすみ振興会へ実施委託(7/1)) ①空き家活用事例集の作成に着手(10月～)。			
自治機能の在り	・自治会や地域諸団体の実情を把握し、人口減少中でも持続可能な体制を構築し基本方針を策定	・団体・役職の見直し等で地域づくりへの負担感を軽減し、若者世代が活動参加し易い地域をつくる ・基本方針を作成し、羽須美地域全域で地域の将来を検討できる体制を構築	・団体、役員の実態調査と報告とりまとめ(6～3月)	(上記「計画づくり」にあわせ、実情把握、検討を実施。)			

◆ 活動写真



○ 8月31日 はすみ会議



○ 9月2日 事務局会議



○ 9月23日、24日 住民ワークショップ



○ 10月30日 住民ワークショップ
(小人数での計画づくりワーキング会議)

◆ その他の取組

(阿須那地区)

- 邑南町地区別戦略実現事業 (H27～R1)
 - ・実施団体: YUTAかプロジェクト
- 邑南町地区別戦略発展事業 (R2～R6)
 - ・R2が取組初年度であり、地区での対応を検討中。
- 公民館課題解決支援事業 (R1)
 - ・「生きる力を育てる～故郷に心を寄せる人材育成 地域の中のもう一人の家族になろう～」事業の取り組みあり。
- 総務省関係人口創出・拡大事業 (H30～R2)
 - ・総務省事業により関係人口創出の取り組み。複数年の補助事業。
 - ・R1年度は「おおなんDIY木の学校」を実施。
- カフェうづい通信部
 - ・旧服部医院を再活用する会により、医院を改装したカフェを開設(2020春)。

(口羽地区)

- 邑南町地区別戦略実現事業 (H27～R1)
 - ・実施団体: LLP口羽をてごおする会
- 邑南町地区別戦略発展事業 (R2～R6)
 - ・R2が取組初年度であり、地区での対応を検討中。
- 花桃まつり
 - ・「天国に一番近い里」と知られる川角集落に、2000本の花桃が植えられている。毎年春の開花時期に「花桃まつり」が催される。